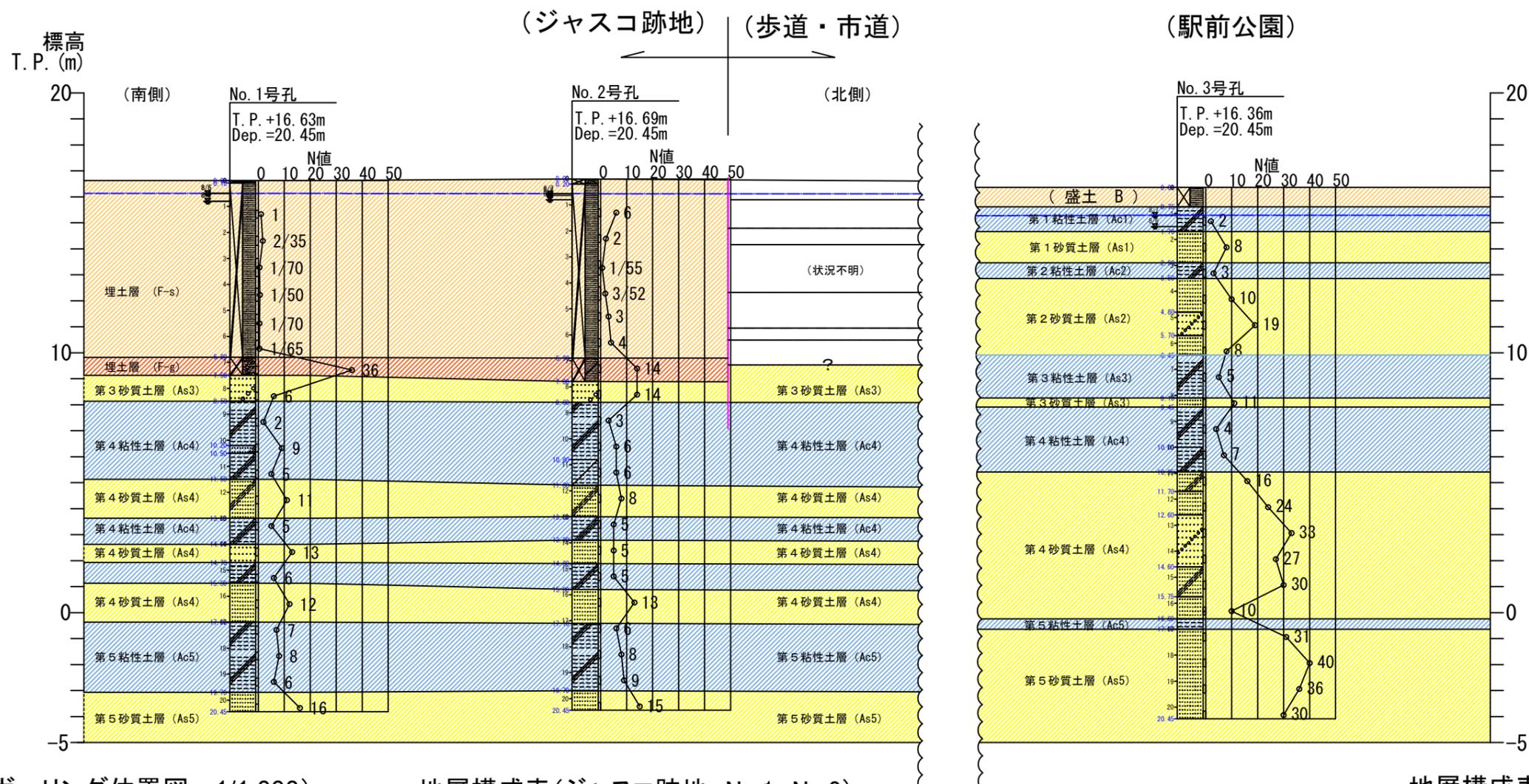
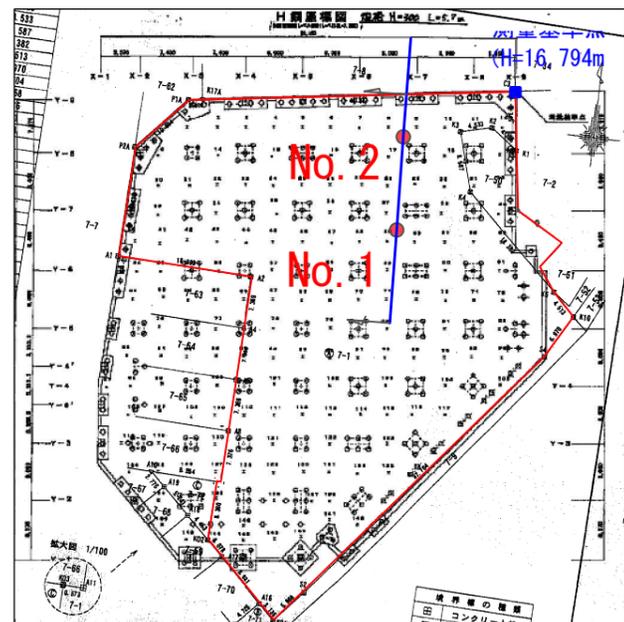


図5-1-2 地質断面図 1/200 (A3)



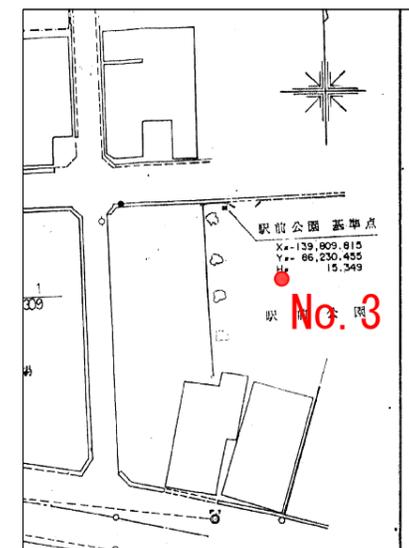
(ジャスコ跡地 ボーリング位置図 1/1,000)

地層構成表(ジャスコ跡地 No.1、No.2)



地層区分 (地層記号)	記事	N値		平均 N値
		No.1	No.2	
埋土層砂 (F-s)	地下層部分への埋土。細砂～中砂で構成され均質である。含水が多く極めてルーズである。No.1とNo.2のN値を比較するとNo.2のN値は2程度低い。	1 2/35 1/70 1/50 1/70 1/65	6 2 1/55 3/52 3 4	層全体 1.5 No.1のみ (0.8) No.2のみ (2.9)
埋土層砂礫 (F-g)	コンクリート片や細礫、砂などからなる。地下層を取り壊した際に残留したものとされる。セメント臭あり。	36	14	25.0
第3砂質土層 (As3)	20mm以下の礫を多く含有する砂で粗砂～細礫が主体である。含水が多く緩い。セメント臭はない。	6	14	10.0
第4粘性土層 (Ac4)	砂質土層As4との互層を呈すシルトを主体とする不均質な粘性土層。単層厚は0.7～1.5m程度で粘土質シルト～砂質シルトまでの粒径変化が見られる。	2.5 5.6	3.6 6.5 5	5.0
第4砂質土層 (As4)	粘性土層Ac4との互層を呈する砂質土層。単層厚は概ね1.0～1.5m程度で構成する砂はシルト質細砂～粗中砂まで変化が見られる。含水や締まりは中程度である。	9, 11 13, 12	8 5 13	10.1
第5粘性土層 (Ac5)	粘土質シルトからなる粘性土層。比較的細粒で均質である。含水は中程度であるが比較的硬い。	7 8 6	6 8 9	7.3
第5砂質土層 (As5)	細粒～中粒の砂に構成されるが細粒分や細礫も少量混入する。含水、締まりは中程度。	16	15	15.5

(駅前公園 ボーリング位置図 1/1,000)



地層構成表(駅前公園 No.3)

地層区分 (地層記号)	記事	N値	平均 N値
盛土層 (B)	細砂、マサ、硬湿りシルトからなる。公園造成時の盛土と思われる。	-	-
第1粘性土層 (Ac1)	軟質な粘土質シルトで腐植物を少量混入する。	2	2.0
第1砂質土層 (As1)	微砂～細砂で構成される。含水多く締まりは緩い。	8	8.0
粘性土層 (Ac2)	シルト優勢で微砂を多く含む。	3	3.0
第2砂質土層 (As2)	細中砂～粗中砂からなり、2～3mm程度の細礫の混入も見られる。含水多く、締まりは中程度～やや緩い。	10 19 8	12.3
第2粘性土層 (Ac3)	シルト及び粘土質シルトが主体。粘性中位。	5	5.0
第3砂質土層 (As3)	微細砂からなる砂層。腐植物が点在する。	11	11.0
第4粘性土層 (Ac4)	粘土質シルトおよび砂質シルトからなる。未分解の植物片が点在する。含水は中程度で比較的硬い。	4 7	5.5
第4砂質土層 (As4)	シルト質細砂～硬湿り粗中砂まで粒径変化が見られる。含水は中程度。比較的締まった部分が多い。	16, 24 33, 27 10	23.3
第5粘性土層 (Ac5)	シルトからなる粘性土層。本層の上層はジャスコ跡地のAc5層の高さとほぼ一緒である。	-	-
第5砂質土層 (As5)	細粒～中粒の砂に構成されるが細粒分や細礫も少量混入する。含水少なく締まっている。	31, 40 36, 30	34.3